

会 議 名	第1回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年1月26日（金） 午前10時から正午まで
開 催 場 所	港区立教育センター 研修室3
委 員 員	出席者 5名 千葉和義委員長、吉野達雄副委員長、 縣秀彦委員、輿水かおり委員、佐々木希久子委員
事 務 局	教育指導担当課長 篠崎、 教育人事企画課教育支援係 澤木、堀内、小林
会 議 次 第	1 開会 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 委員長選出 5 公募要項（案）について 第一次及び第二次審査基準（案）について 6 今後のスケジュール 7 閉会
配 付 資 料	資料1 港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項（案） 資料4 公募要項【様式集】 資料5 業務基準書、業務仕様書 資料6 第一次審査選考基準・採点表（案） 資料7 第二次審査選考基準・採点表（案） 資料8 今後のスケジュール 添付資料1 港区立みなと科学館のパンフレット 添付資料2 港区立みなと科学館条例及び施行規則

会議の結果及び主要な発言

A委員	<p>1 開会</p> <p>2 委員委嘱</p> <p>3 委員紹介</p> <p>4 委員長選出 [委員長の選出について] 委員長には、理科教育について造形が深く、現在のみなと科学館の指定管理者の選考委員の経験がある千葉委員を推薦したいと思うが、いかがか。</p> <p>→ 委員長に千葉委員を選出</p>
事務局	<p>[副委員長の選出について] 副委員長には、本選考委員会設置要綱第5条第3項の規定により吉野委員にお願いしたい。</p> <p>→ 吉野委員を副委員長に選出</p>
事務局	<p>5 公募要項（案）について 第一次及び第二次審査基準（案）について （資料3から資料7までの説明）</p>
D委員	<p>過去の実績額は提示されているか。</p>
事務局	<p>公募要項で令和2年度から令和4年度までの額を記載しており、おおむね3億円程度となっている。ただし、令和2年度、令和3年度については新型コロナウイルス感染症対策の関係で入場制限をしたため金額が少し減っている。令和5年度も約3億円程度となっており、一つの基準になるかと思う。</p>
D委員	<p>常設展示をリニューアルする費用は予定しているか。</p>
事務局	<p>常設展示は開館前に区が直接委託して設置したものである。現時点では、常設展示を変更する予定はなく、今回の公募についてもリニューアルする費用の積算の予定はない。</p>
D委員	<p>みなと科学館を設置されてこれまでの運用については評価されていると思うが、次の5年間はどうか変わってほしいのか。また、どのような課題があるのか。具体的な課題を理解したうえで評価すべきか。</p>

事務局	<p>利用者数は4年間で右肩上がりになっているが、今後はリピーターを獲得していく必要があると考えているため、そうした観点での取組がされているのかという点を委員に見ていただきたい。また、広報・情報発信に関する提案についても重要と考えている。魅力的な取組などがあっても利用者にきちんと伝わらなければ、最大限の効果が発揮できない。広告、マスメディア、SNSなどと情報発信の方法を分けて、細かく提案してほしい。特に、LINEは区有施設の中で唯一独自のアカウントを持つため、うまく活用して情報発信してほしい。また、比較的利用が少ない層や時間での来訪機会を高めることも必要と考えており、属性でいうと、高校生、大学生、社会人の利用者の利用が比較的少なく、時間帯でいうと夜間の利用者数が少ないためそうした年代や時間帯にフォーカスした広報も重要だと考える。</p>
E委員	<p>広報・情報発信は区民だけでなく、区民以外にも発信するのか。</p>
事務局	<p>区民以外にも発信したいと考えている。</p>
E委員	<p>利用額は区民もそれ以外も同額か。また、区外の学校が、利用や貸切を希望した場合も対応可能なのか。</p>
事務局	<p>ご認識のとおり、区民以外も利用額は同じである。また、区以外の学校の利用を受け入れることも可能である。</p>
E委員	<p>立地が非常に魅力的である。区外から来たいという人も多いと思う。利用者が区民か区外かの人数は把握しているか。</p>
事務局	<p>アンケートに答えた利用者の区内・区外の人数は把握しているが、出入りが自由であるため、利用者全体における割合については把握できない。</p>
B委員	<p>D委員とのやりとりは非常に大事な部分だと思う。ぜひ応募者に公募説明会や質問時等で伝えてほしい。5年間は長く、新しい課題ができることもある。年度途中でも区からの提案等で仕様を見直すことは可能か。</p>
事務局	<p>ご認識のとおりである。</p>
B委員	<p>ぜひ今後出てくる課題に対しても対応してほしい。公募するに当たり、複数事業者の応募が望ましいので、応募を呼び込む工夫があれば教えてほしい。また、仕様書で小学校向け科学教室と記載があるが、中学校向けはないのか。関連して、採点表では理科教育と記載があるが、理科で良いのか。理科にとどまらず、もっと広く捉えるべきではないか。</p>
事務局	<p>応募については、前は1者のみであったため、複数の応募になるように近隣の科学館・博物館を運営している事業者にも声をかける予定である。仕様書については現在、</p>

	<p>小学校向けの科学教室を行っているため仕様書に記載しているが、中学校向けの科学教室は実施していないため記載していない。中学校についても科学教室を実施していくのであれば、選考委員会で協議の上で仕様書を修正したい。理科教育の記載については、みなと科学館の条例で理科教育という言葉を使用しているが、委員の言うとおり、理科学分野にとどまらないものもあるかと思うので表現については工夫する。</p>
B委員	<p>仕様書については、現時点で課題と思うものであれば加えるべきだが、A委員は中学校向けの科学教室についてどう思うか。中学校は団体での利用時にどのようなことをしているのか。</p>
A委員	<p>学校によっては人数が多いことから、プラネタリウムの観覧と常設展示をみる生徒で分かれて入れ替えながら施設を見学している。</p>
B委員	<p>もし中学校向けの科学教室があると良いという声があるのであれば取り入れた方が良いと思う。</p>
事務局	<p>承知した。確認して仕様書に取り入れる。</p>
A委員	<p>自主事業は事業者の専門性が発揮できる場所であるため、大人の利用率に関わるような専門性の高い事業の提案をしてもらえたらよいと思う。また、中学生の利用は年に1回1学年で常設展示とプラネタリウムの見学であるが、加えて中学生にもできるような実験があれば良いと思う。そして、3年間に1回だけの訪問ではなく、毎年行けるようにしていくために事業者から提案してもらえるとよいと思う。質問になるが、特別支援学級の児童が職場体験をしているが、通常学級の職場体験は受け入れているか。</p>
事務局	<p>受け入れている。</p>
A委員	<p>1年生のときから科学館に足を運んで、科学館の仕事にも興味をもってもらえるように、区内の中学校としてはさらに活用していきたいと思う。</p>
事務局	<p>学校利用のプログラムについては学習指導要領に基づきリンクできるものにしてるので、中学校についても事業者のノウハウを専門的な観点から審査いただきたい。</p>
D委員	<p>科学館にはプラネタリウムがあり、天体学習をする際に近隣に大学や研究機関・企業が多いので新しい提案があれば良いと思う。プラネタリウムはどのくらい貸し出しているか。まだ貸出状況に空きがあれば自主事業の提案や連携事業ができると思う。</p>
事務局	<p>プラネタリウムの貸出は、基本的には番組を事前に決めているため、自由に貸し出すことは難しい。また、プラネタリウムの貸切はほとんどが学校利用になっている。</p>
B委員	<p>リピーターの確保が課題と言っていたが、売店はあるのか。郷土歴史館は売店があり、</p>

	みなと科学館も売店があれば良いと思ったがどうか。
事務局	現在、売店はないが、利用者の興味を促進するためノベルティの配布は積極的に行っている。
D委員	指定管理の事業者の業務評価はどのようにされているか。
事務局	区ではモニタリング等を実施している。また、月に1回教育委員会とみなと科学館で協議する場を設け、運営状況の報告をもとに、提案や改善事項等を伝えている。そのほか、第三者評価も実施している。
D委員	第三者評価は公表されているのか。第三者評価では新たな提案はあるのか。
事務局	公表されている。第三者評価は、あくまで適切に運営されているかについての評価であるため、そこで新たな提案はされていない。今回の提案については情報発信、常設展示等の企画等の課題を中心に見ていただきたい。売店等の貴重な意見については、事業者の提案があり、体制を整えば取り入れていけると思う。
D委員	採点表にあるコメントは公表されるのか。
事務局	コメントは公表されない。契約時または契約後に今後受託する事業者から委員からの意見を伝えることは可能ではあるが、公表はあくまで採点結果と選定理由、議事録となる。
E委員	現状を滞りなく行うというだけでなく、実態に応じた、また、時代に即した様々なアイデアを提案する事業者を望んでいる。
事務局	現状にとどまらず、みなと科学館を新たな段階にしてほしいため、第二次審査採点基準表に記載の事業計画の発展性の観点等において採点してほしい。
B委員	事業の一環として大学の学生を活用してもよい。それにより利用してくれる大学があるかもしれないと思う。
事務局	大学との連携を提案させる予定である。
B委員	学芸員の養成のために授業で博物館に行って実習する必要があるので、そういった機会を生かせればよいと思った。
事務局	講座のなかで区内の大学がプログラミング講座を実施した実績があるので、区内に限らず大学や研究機関と連携して講座、展示に生かしていきたいと思う。
B委員	職場体験は、科学館のスタッフになるということか。

事務局	展示の案内等は難しいので、受付をメインに体験している。
B委員	区では、不登校児が行くような場所はつくられているのか。
事務局	この建物内に適応指導教室を設置しており、みなと科学館も見学等で利用している。
B委員	実験が好きな児童の居場所になるように、そのような施設の受入先になれば不登校の問題がよくなるのではと思った。
事務局	提案書にも適応指導教室に関する支援について記載しており、同じ建物の中にあるメリットを生かして適応指導教室に通う児童がみなと科学館を利用して新しい発見してもらいたいと考えている。
D委員	平日の放課後の実験室やプラネタリウムを使って、不登校の子に活用してもらいたい。また、みなと科学館には、気象科学館が併設されているが、5年間で気象庁との連携についてはどうだったと考えているか。
事務局	ほとんどの方がみなと科学館に来れば気象科学館も利用する。また、雲展などの企画展等でもうまく連携できている。
委員長	[一次審査の通過事業者数と通過基準について] 応募事業者が1者だった場合も審査を実施することとしてよろしいか。
全委員	(1者だった場合も審査を実施することを了承)
委員長	第一次審査、第二次審査のそれぞれの満点の60%を基準点(最低ライン)とすることと決定してよろしいか。
B委員	提案の項目で、60%を切る項目があったとしたら通過しないという制限はあるか。
事務局	そのような制限はなく、総合得点に対しての60%でみるかたちになる。
全委員	(第一次審査、第二次審査のそれぞれの満点の60%を基準点(最低ライン)とすることを了承)
事務局	6 今後のスケジュール (資料8を説明)
	7 閉会

※委員長における質疑や講評等に関する発言については、「委員」として表記しています。

会 議 名	第2回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年6月11日（火） 午後2時から4時まで
開 催 場 所	港区立教育センター 研修室3
委 員	出席者 5名 千葉和義委員長、吉野達雄副委員長、 縣秀彦委員、輿水かおり委員、佐々木希久子委員
公認会計士	Census Consulting 株式会社 平山 友暁
事 務 局	教育指導担当課長 清水、 教育人事企画課教育支援係 澤木、堀内、小林
会 議 次 第	1 開会 2 財務状況等分析結果の報告 3 第一次審査通過事業者の決定について 第二次審査について（プレゼンテーションについて） 4 閉会
配 付 資 料	資料1 財務状況等分析報告書 資料2 資金計画分析報告書 資料3 第一次審査（書類審査）採点集計表 資料4 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の実施について（案） 資料5 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表 資料6 第1回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会議事録

会議の結果及び主要な発言

<p>平山公認会計士</p>	<p>1 開会</p> <p>2 財務状況等分析結果の報告 (資料1、資料2を用いて公認会計士が報告) 財務状況分析 A事業者 総合評価「可」 資金計画分析 A事業者 総合評価「A」</p>
<p>B委員</p>	<p>財務状況分析について、事業者の直近3期の業績概要等の分析結果から、総合評価で可と結論付けた。また、資金計画分析についてもすべての項目について問題がなかったため、総合評価でAと結論付けた。その他経費の全体経費に占める割合については、大体の施設が指定管理料の約10%から15%がその他経費になることが多いが、今回、指定管理料提案額に対して20%程度となっているため少し多めであると感じた。</p>
<p>B委員</p>	<p>その他経費の中の本部経費とはなにか。</p>
<p>平山公認会計士</p>	<p>みなと科学館の職員の給与は職員人件費になるが、この職員を統括する本社の職員の給与や、本社で使うシステム関連費用が間接的にみなと科学館でも発生するために本社の費用を一部按分しているものが本部経費である。</p>
<p>B委員</p>	<p>統括するというのは、役職でいうと館長と施設長の給与になるのか。</p>
<p>平山公認会計士</p>	<p>館長の給与計算や人事評価等を行う本部にいる職員の給与になる。直接現場にいる職員は職員人件費になるが、本部で現場にいる職員をサポートするための費用がその他経費に該当する。</p>
<p>D委員</p>	<p>現在の指定管理業務を請け負っている事業者も毎年同じ割合でその他経費を計上しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在の本部経費については、7千万円弱であり大きな変化はないと考える。</p>
<p>D委員</p>	<p>科学館の指定管理業務を請け負う事業者は、他の業種に比べるとその他経費の本部経費を多くかけるものなのか。</p>
<p>平山公認会計士</p>	<p>システム費用や役職者の人件費・管理費、本社の賃借料の一部等が網羅的に按分されているため、本社の母体がある程度大きいとその他経費が大きくなり、結果として指定管理料に対する割合が高くなるのではと考える。業種によるものかどうかについては判断できない。</p>

D委員	セキュリティ関係費用がかさんでいるように見えるが、その他経費の中にもセキュリティ業務にかかる費用は含まれているのか。それとも、指定管理料とは別に区が負担しているのか。
平山公認会計士	本社における施設支援に係るシステム関係費用はその他経費にも含まれている。セキュリティに関するものは資料からは読み取れないが一部按分されていると推察される。
E委員	その他経費が多くかかることに驚いた。見積りのその他経費の割合は他の施設の割合と比べてみて多いと感じた。
平山公認会計士	本部経費の項目ごとの金額を事業者に提出してもらい、委員からみて納得できるような過程を得ているのかという点で、事業者に質問してもよいと思う。
B委員	事務局からの参考資料で、令和2年度から令和4年度までの実績がある。本事業者が指定された場合、実績に比べ、令和7年度からの予算の上昇割合が高いが、令和7年度からの予算要求額が妥当であるかどうかの考察はされているか。
平山公認会計士	内容を確認したところ、令和7年度はホームページの改修の初期費用やデジタル提案に係る初期費用等が発生するために、金額が上昇していることは確認している。
B委員	令和2年度から令和4年度にかけて実績は上がっているが、令和7年度から令和9年度にかけての見積りは一定であり、その点について違和感があった。
平山公認会計士	令和7年度以降については資料から増加理由が明確であることは確認できており、増加理由以外の部分は平準化されるというのが事業者の主張である。
E委員	令和4年度に比べ、見積の施設管理費用が倍以上になったのはなぜか。
平山公認会計士	施設管理経費のなかで費用が大きいのが設備保守になる。設備保守は主にプラネタリウム関係費用である。事務局にお伺いしたいが、昨今の情勢としてプラネタリウムの使用頻度は上昇傾向にあるのか。
事務局	プラネタリウムの利用頻度について、1日5回、土日は6回投影している。新型コロナウイルス感染症拡大時は小・中学生の学習投影の利用頻度が少なかったが、コロナ禍が明けてからは小・中学生が平日も来るようになり利用頻度は上がっている。プラネタリウム機器も利用頻度が増えたことで故障の頻度も増え、保守の回数と修理の費用も高騰していると聞いている。
E委員	多少金額が増えるのは当然だが、金額の上がり幅が大きいと感じたのは率直な意見である。直接事業者に質問したいと思う。

	(平山公認会計士退席)
委員長	今回の意見について、その後事務局でどのように対応するのか。
事務局	その他経費と施設管理経費の件については、事業者から詳細な項目を提出してもらい説明を受けた方がよいのではないかという意見もあったことから、第二次審査の際に資料を提示してもらい、質問していただくのがよいかと思うがいかがか。
B委員	事前にその資料を見せてもらうことはできるのか。
事務局	可能である。ヒアリングまでに事業者に資料を求め、事前に委員に送付し、当日事業者に質問していただきたい。
事務局	<p>3 第一次審査通過事業者の決定について 第二次審査について（プレゼンテーションについて） （資料3の説明）</p> <p>【第一次審査の講評】</p>
D委員	採点の基準に従って評価した。提案についてもう少し積極的かつ具体的な記述があると望ましいと思うところは評価を下げた。全体的な提案内容は極めて優れており、4点ないし3点と評価した。やや劣ると評価した箇所については指定管理者が決定し運用していくなかで改善してほしい。
E委員	安定感のある事業者だと思った。館長、施設長については、役割分担、勤務実態、人事考課、苦情対応等のすみ分けについて気になっている。多目的ロビーの使い方の提案について、ロビーの使い方が面白く、宣伝の仕方次第でリピーターが増えるのではないかと思い、高く評価した。プラネタリウム事業の夜間の投影について具体的な記載があり、ホームページ等を利用すれば面白い科学館になると感じた。一方で、参画型を長期にわたって実現するという記載ぶりだったが、それについてはスピード感がないと感じた。
A委員	大人も施設を利用したくなる企画提案、グッズの販売にかかる提案など、魅力的な提案がたくさんあると感じた。小・中学校等の教育の支援の提案について、良い内容が多いと思ったが、特別支援学級への提案が読み取れなかった。高齢者の雇用促進については半年に1回発注することが雇用促進なのかがわからなかった。
E委員	特別支援関係については私も気になった。また、港区は幼稚園があり、保育園、幼稚園、小学校との関連について盛んに言われているなかで、幼稚園、保育園、小学校1・2年生の生活との関連については提案の記載がなかったため気になった。シルバー人材センターの活用についても、港区には知見がある方が多いと思うので、もう少し人材を発掘する努力が必要だと思った。

B委員	概ね良い評価をつけたが、具体性に欠けるところがあった。大学・企業・地域等の連携について多くの記載があり、良いと感じるか具体性に欠けると感じるかで評価が変わると思う。効率的で質の高いサービスの項目の子どもたちに関わる点について実績の記載があるが新しい提案がみえない。職員の考える力の養成について、具体的にどう評価するのかがわかりにくかった。研修が重要だと思うが、どんな講師を呼ぶのか、内部のみで研修するのか等が分からなかった。また、施設長の役割については明確だが、館長がどのように関わるのかが分からなかった。大災害時における施設の考え方については事務局に伺いたい。
事務局	大災害時については、気象庁と区の防災課で協定を結んでおり、近隣施設と連携して帰宅困難者を受け入れることとなっている。
B委員	帰宅困難者のケア等の記載が少ないと感じた。それ以外の項目は良好であると感じた。
D委員	【意見交換】 個人的には広報や外部に対して情報発信する上で、館長が情報発信の顔になってほしいという思いがある。
事務局	【第一次審査評価点数の決定】 (再集計の結果の説明)
委員長	第一次審査の評価点数については、この点数で決定してよろしいか。 (異議なし)
委員長	それでは、第一次審査の評価点数はこのとおりに決定する。A事業者は、得点が満点の60%以上となるため、第一次審査通過事業者として第二次審査に進むこととしたいと思うが、よろしいか。 (異議なし)
委員長	それでは、A事業者を第一次審査通過事業者として決定する。
事務局	(第二次審査について、資料4及び資料5の説明)
	4 閉会

※委員長における質疑や講評等に関する発言については、「委員」として表記しています。

会 議 名	第3回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年7月12日（金） 午前10時から正午まで
開 催 場 所	港区立教育センター 研修室1
委 員 員	出席者 5名 千葉和義委員長、吉野達雄副委員長、 縣秀彦委員、輿水かおり委員、佐々木希久子委員
事 務 局	教育指導担当課長 清水、 教育人事企画課教育支援係 澤木、堀内、小林
会 議 次 第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリング 4 第二次審査採点結果及び事業候補者の選定について 5 閉会
配 付 資 料	資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査選考基準・採点表（1事業者分） 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配付） 資料4 第2回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会議事録 参考資料1 第一次審査採点集計表 参考資料2 「施設管理経費内訳」及び「その他経費内訳」

会議の結果及び主要な発言

	<p>1 開会</p>
事務局	<p>2 第二次審査実施概要について (資料1・2の説明)</p>
B委員	<p>プレゼンテーションの前に全員に経費に関する資料を送っているのか。</p>
事務局	<p>委員の皆様と同じ内容のものを送っている。</p>
B委員	<p>私の理解したところだと、経費について公認会計士にも確認し、特段の問題がある訳ではないと認識しているが、その認識でよいか。</p>
事務局	<p>公認会計士にも確認をとっており、ご認識のとおりである。</p>
B委員	<p>経費に関するヒアリングの時間を取っているが、特段の問題がある訳ではないのならあえて質問する必要はないのではないかと。全員が納得していればプレゼンテーションから始めてもよいかと思うがいかがか。</p>
E委員	<p>公認会計士に確認したところ、金額は算定根拠が明確であれば特段問題ではないとのことだったということであっているか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p> <p>(経費に関するヒアリングではなく、プレゼンテーションから始めることを了承)</p>
	<p>3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリング</p>
A事業者	<p>【A事業者】 <プレゼンテーション> (企画提案書の説明)</p>
E委員	<p><ヒアリング></p> <p>1 点目、今後の5年間で新しく取り入れるものはなにか。 2 点目、これまでの5年間の利用者の声や実績についてどのように蓄積・活用していくのか。 3 点目、広報については具体的にどのようなアプローチをしていくのか。 4 点目、これまでどのような苦情が寄せられて、どのような対応をしていたのか。 5 点目、第三者評価について、危機管理以外に指摘された点があるのか。 以上、5点についてお伺いしたい。</p>

A事業者	<p>1点目について、利用者数は増加しているものの夜間帯に人が来ていないことが分かっている。そこで例えば今までやっていたアロマプラネタリウムにキャンドル作り等、アロマに関連する講座と一体で行うことで、施設全体に人が訪れるようにしていきたいと考えている。また、周知が足りない面もあるので、アウトリーチもしていきたい。また、中学生、高校生、大学生が来館してもらえるように、体験型としてのプラネタリウムの解説練習や番組制作体験の実施などによりアプローチをしたい。星空ゼミやとらのもん宇宙塾についても利用者が気軽に参加できるように、解説員や講師が対応していけるように行っていく。参画型を今回の提案に掲げているので、子どもからシニアまで色々なご意見をいただいて、利用者の自己実現に向けて、新しい企画を取り入れていきたい。</p> <p>2点目、現在も、事業実施報告書の内容に基づき、次のプログラムに向けた改善をしているので、継続して実施していきたい。</p> <p>3点目、広報については独自にメディアリストの構築を行っていきたい。媒体はもちろんだが、地域に密着した企業への連絡やアプローチを密にしていきたい。また、リリースの内容を基に内容に応じた情報発信を心掛けていきたいと考えている。</p> <p>4点目、苦情で多いのはイベントの予約の取りにくさである。特に先着で電話したら埋まってしまっていたという指摘が非常に多かった。この指摘を踏まえて、抽選など公平な形でのシステムを構築していきたい。苦情全般については、毎月の自由意見も踏まえて、チームリーダーで共有してどうしていくかということ相談していきたいと考えている。</p> <p>5点目、危機管理以外の指摘については特にはなかった。ただ、調査の段階で細かいマニュアルを整えていく必要があるというのは感じた。</p>
D委員	<p>1点目、事業評価、業務改善をどのように運営に生かしていくのか。</p> <p>2点目、みなと科学館の特徴と、これからの5年間で何を実現していくのか。</p> <p>以上の2点についてお伺いしたい。</p>
A事業者	<p>1点目、事業評価や業務改善についてである。企画の段階で試行を行い、実際に準備を行っていく。企画を実際に行った後もアンケートや実際の様子を観察し評価をして、ターゲット層にどのようにしたら響くのか等の改善点をチームで共有している。そのサイクルを繰り返し行うことでより質の高い運営をしていく。施設全体としては次年度からは何年目でどこまで到達するのかということ目標設定しチェックを行っていききたい。</p> <p>2点目、施設の特徴と何を実現するかである。施設の特徴は、都会の真ん中に位置している科学館であること、アクセスが良いこと、施設規模としては小さいが、利用者が多いというようにとらえている。また、大使館の職員やJAXAの研究員が実験室の中で子どもの目の前の距離で写真を撮りながら話をするというような本物に触れる距離感がよいのではないかと考えているので、そういった研究者や研究開発をしている企業の方と触れ合える機会を科学館で今後たくさん捻出したいと考えている。</p>
C委員	<p>リピーターが増えた場合にプログラムを更新していく、または変更していくというこ</p>

	とは可能なのか。
A事業者	可能である。新しいプログラムを導入するとともに、今までのプログラムについても対象や素材を変更し、企画書の段階で変更しながら、どんな来館者でも楽しんでもらえるような講座になるように取り組んでいく。
B委員	探求講座は子ども1人あたりどのくらいの時間を使う予定なのか。
A事業者	今の段階では3日から5日を想定している。調べ方や計画の立て方などに主体性をもってほしいので全てをサポートするというよりはタイミング良くスタッフがサポートに入ってアウトプットができるようなやり方をする予定である。
B委員	意欲的で素晴らしい企画だとは思いますが、1人あたり5日使うということでどのくらいの児童が参加できる予定なのか。
A事業者	8～9人程度を想定している。
A委員	特別支援学級の児童生徒も楽しめるようなプログラムは考えているのか。
A事業者	特別支援学級向けのプログラミング講座は用意しているので体験していただくことは考えている。科学館に来ることで環境に変化があるのでその子に影響を及ぼさないよう、ニーズを丁寧にヒアリングして、来ていただけるようにする。また、子どもの力が発揮できるような企業などと連携し、STEAM教育に繋がる講座を実施予定である。
事務局	<p>4 第二次審査採点結果及び事業候補者の選定について (資料3を配付して採点の集計結果を説明)</p> <p>【第二次審査の講評】</p>
A委員	十分ではないかという印象がある。プラネタリウムに関しては一般公開だけではなく、学校団体向けに学習投影や学校スカイラインの活用の提案があり、児童生徒にとって身近に感じられる提案だったのが素敵だと思った。また、要望に応じてプログラムの改定もしていくとのことだったので、発展性が見込め、すごくよい科学館になるような期待もある。
D委員	安全安心に対する考え方や事業計画の具体性及び発展性の点については優れており、指定管理を任せて十分足りる事業者という判断をした。
E委員	ポイントが見えにくいプレゼンテーションではあった。安全安心面については常識的だったので3とした。きちんとした安心感のある企業体だとは思う。
C委員	プレゼンテーションを聞いて、運営に心配はないと思った。ただ、具体性に欠けてい

	<p>た部分があったので意欲の点は良い評価ができなかった。事務局と事業者でやり取りをして、今後良い運営にしてほしい。</p>
B委員	<p>施設への理解や運営体制は取りこぼしなく話しており、問題なく運営できると思った。安全安心面ではプラネタリウムを無料にして訓練を行うといった提案は良いと評価できる。</p>
事務局	<p>【事業候補者の決定】 (再集計結果の説明)</p>
委員長	<p>第二次審査の評価点数については、この点数でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、この点数のとおり決定する。この点数をもって、当委員会として、A事業者を事業候補者として決定してよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、そのとおりに決定する。 → A事業者を事業候補者とすることを決定</p>
	<p>5 閉会</p>

※委員長における質疑や講評等に関する発言については、「委員」として表記しています。